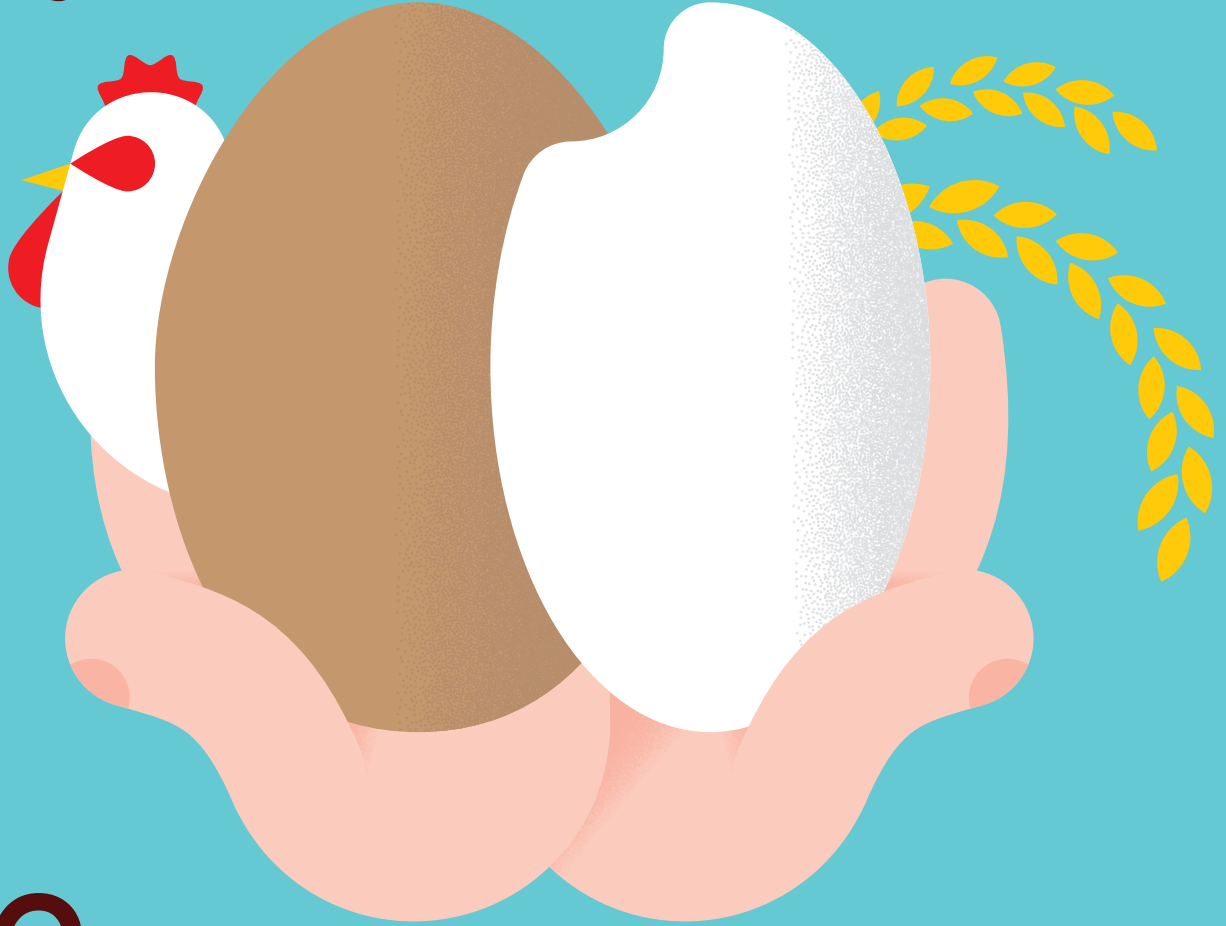


GAP導入がもたらす農業の進化
— 米と卵の現場から —

2026

6.6 (土)

13:00 - 15:30

名城大学

天白キャンパス

共通講義棟南1階 S-102

定員 80名

食の安全・安心への関心が高まる中、生産者もこれまでの「おいしい」に加えて「安全・安心と環境配慮」が新しい価値観として共有されつつあります。この講座では、GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)を解説するとともに、生産者、サプライヤーにおけるGAPの必要性や実用例などを解説いただきます。

GUEST SPEAKER

講演
1JGAPの向こう側
— 認証がもたらす組織文化の進化 —株式会社 デイリーエッグ
生産部長代理 同生産部

長尾 智 榎木 はるか

講演
2

GAPの導入と水稲農業経営

株式会社 LightField
代表取締役

丸田 洋

申込は
こちらQRコードを読み込んで
Googleフォームよりお申し込みください。

本講座では、SDGsの目標に関する ③ すべての人に健康と福祉を ⑥ 安全な水とトイレを世界中に ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧ 働きがいも 経済成長も ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう 取り組みを行っております。 ⑪ 住み続けられるまちづくりを ⑫ つくる責任 つかう責任 ⑬ 気候変動に具体的な対策を ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう CN カーボンニュートラル実現に関する講義

主催：名城大学農学部 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501 お問い合わせ：agr001@cmailg.meijo-u.ac.jp (農学部生物資源学科 公開講座事務局)